



報道機関 各位

資料提供 令和元年5月24日
健康福祉部 保健・疾病対策課 健康危機管理班
担当者 木内
TEL 018-860-1427
美の国あきたネット掲載 ☒ 無

つつが虫病患者の発生について（注意喚起）

令和元年5月23日、今年2件目のつつが虫病患者の発生届がありました（初発は5月20日）。県民への注意喚起に協力をお願いします。

届出年月日	5月23日（由利本荘保健所管内医療機関）
患者の住所	由利本荘保健所管内
患者の年齢・性別	70代・女性
症状	発熱、刺し口、発しん
刺し口部位	右手
初診年月日	5月20日
診断年月日	5月23日
発病年月日	5月16日

過去の届出状況 平成30年5件、平成29年9件、平成28年3件

【県民の皆様へ】

○ つつが虫病とは

病原体を持ったツツガムシに吸着され、体内にその病原体が入った場合に発病する病気です。ツツガムシは野山や田畑、河川敷に生息し、秋田県では5～6月が最もつつが虫の発生が多い時期です。

○ 症状

つつが虫病は病原体を持ったツツガムシの幼虫に吸着された後、5～14日後に発症します。人から人への感染は起きません。

主な症状は、40℃近くの高熱とその後に現れる発しん、吸着された部分に1cmほどのカサブタがあることです。

治療が遅れると入院が必要となる場合もあり、死亡することもあります。

疑わしい症状が出た場合は早めに医療機関を受診し、発症前の生活（野山や田畑、河川敷に出かけたことなど）を医師に伝えてください。

○ 予防法

① 野山、田畑、河川敷等に行く前に

長袖、長ズボンを着用してできる限り素肌を出さない。

② 野山、田畑、河川敷等からの帰宅後※

・速やかに入浴し、念入りに身体を洗い流す。

・脱衣後の衣類は室内に持ち込まない、又はすぐに洗濯をする。

※ ツツガムシが身体についても、吸着開始から病原体に感染するまでには6～10時間ほどかかるため、吸着前に取り除くことが有効です。